



な
ぎ
ちょう
奈 義 町

6月議会

議会だより



シリーズ・まちの匠

書道とともに・上原ぬじ江さん

159号

令和3年8月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 6月定例会、請願・陳情、総務常任委員会報告 2 ~ 3 ページ
- 一般質問（6名） 4 ~ 10 ページ
- こども園、中学校建設調査特別委員会報告 11 ページ
- まちづくり常任委員会報告、表紙の紹介、編集後記 12 ページ

6月定例議会（令和3年6月8日～6月18日）

次のような議案など20件が提出され審議しました

《条例》2件

（全員一致で可決）

- 奈義町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
固定資産の価格に不服がある場合の審査申出書に押印が不要になった。

《補正予算》5件

- 一般会計
主に新型コロナウイルス感染症対策と、B & Gの外壁、多目的トイレの改修費です。
また、再度グルメ券を発行する予定です。時期については、オリンピックや、夏の帰省もあり慎重に検討してほしいと議員から要望がありました。

- 介護保険特別会計他3件
（全員一致で可決）

《契約》1件

（全員一致で可決）

- 庁舎空調設備改修工事請負の契約について
以下のとおり決定しました。

◎契約先：森安建設株式会社 ◎契約金額：1億4234万円

《同意》1件

（全員一致で同意）

- 固定資産評価審査委員会委員選任について
芦田潤治氏（71才・奈義町柿）
を選任することに同意しました。

《その他》2件

（全員一致で可決）

- 奈義町気候非常事態宣言について
3月定例会で総務常任委員会に付託されており、委員長から以下のような意見があったと審査報告されました。
 - ・町民の方によく理解して取り組んでもらえるよう周知徹底すること。
 - ・具体的に、ひとつひとつ取り組みを進めていくこと。

意見書の提出について

可決した意見書については国会や関係行政庁に提出します。

- ◎安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書（案）の提出について
（賛成7、反対2で可決）
- ◎教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書（案）
の提出について
（全員一致で可決）

《請願・陳情について》

種別	番号	付 議 案 件	結 果
請願	①	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書	(総務常任委員会に付託)
陳情	②	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情	(総務常任委員会に付託)
	③	急を要する耐震問題の中学校建設を先行し、事業費の大幅増などの問題を抱えたこども園はいったん立ち止まり、検約の立場で事業内容の再検討を求める陳情書	不採択 (賛成1、反対8)

③については、こども園、中学校建設調査特別委員会で審査しました。議会としては、賛成1、反対8で、不採択としました。(11頁に関連記事)

賛成討論 森藤政憲議員

「住民の意思で決める」という地方自治の原点、「町民の意思を的確に把握する」という議会基本条例の立場から考え、当然、賛成すべきである。

反対討論 上原伸介議員

町民の声に耳を傾けることは当然のことではあるが、今回の陳情内容は先に議決した決議文に合致しない部分がある。議会制民主主義の観点から、反対すべきである。

総務常任委員会報告

5月26日、第1回定例会で付託された、奈義町気候非常事態宣言の審査を行った。担当課から補足説明を受けた後、質疑、採決を行い、総務常任委員会としては可決という結論になった。

6月3日、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のとおり。

問…津山圏域消防組合旧日本原分署の今後の利用計画は。

答…しごと園の人材センターに使つてもらうことを想定している。

問…保育園の保育士の体制はどうなっているか。

答…6月1日現在の園児の数に対する、保育士の確保はできている。さらに入園希望があれば、保育士を確保したり、広域連携を考えている。

問…新型コロナウイルスワクチン接種について、64歳以下のワクチンの確保はできている

答…今のところ申請に応じていただけるものと思っている。

国からも困難とは聞いてない。

問…GIGAスクール構想について、デジタルと紙の教科書の併用が望ましいと文科大臣のコメントがあつたが奈義町もその方向か。

答…紙とデジタルを、当然併用していく。



何に使う？消防組合旧日本原分署

町政を問う

一般質問

ページ	議員名	質問項目
5	上原 伸介	1. こども園の建設について 2. ポストコロナ期の教育について
6	鷹取 渡	1. こども園・中学校の建設が実施設計に入り進行していることについて 2. SDGsの奈義町での取り組みについて
7	小阪 四郎	1. こども園について 2. 奈義町のSDGsについて
8	定森 廉敏	1. 井戸水について 2. 上水道事業について 3. 遊歩道の整備について
9	森藤 政憲	1. 新型コロナ対策の小、中学生へのワクチン接種について 2. こども園建設について 3. 全町民に3,000円、高齢者に12,000円のナギフトカードでの支給について
10	中井 泰洋	1. 奈義町の人口の増減について 2. こども園の建設について 3. 未来へ向けて



上原 伸介 議員

Q こども園建設事業費はどのように抑制していくのか

A 基本設計にのっとり、設備や材料の見直しを図る

質問

こども園の建設については、敷地のかさ上げをする設計が追加され、事業費は全体として4億4000万円の増額となつた。この事業費に対しては、早期建設を願う方々からも少し高すぎるのではないかとの声がある。これに対し、町としても事業費の抑制に努めていくとの回答を得ているが、実際にどのような抑制策を講じていくのか。

答弁 町長 部屋の機能を維持しながら、合理的な配置や間取りを再検討し、設備や材料の見直しをすることで事業費の抑制を図っている。

質問

では、実際にどのくらいの削減を見込んでいるのか。また、広戸風の影響を鑑み、盛り土の量を減らして建物を低く構える、あるいは、屋根の方向を揃える等の基本設計に立ち返るような対策は講じないという理解でよいか。

答弁 町長 建物や外構、また造成で、全体として5000万円ほどを捻出できたらと考えて

いる。また、建物の高さや構造については、基本設計を変えるわけにはいかない。これについては概要案を示したときに、納得されていると考えている。

円ほどを捻出できたらと考へて、建物の高さや構造については、基本設計を変えるわけにはいかない。これについては概要案を示したときに、納得されていると考えている。

Q ポストコロナ期における教育は

A 直接、肌で感じられるキャリア教育に取り組む

質問

GIGAスクール構想の流れをくみ、ここ奈義町でも1人1台ずつタブレット端末が配布され、個別最適化された授業に向けての取り組みが進められている。

一方で、こういったデジタル機器には必ず設計者が存在する。

プログラムされている以上は、利用者に対して、枠（思考制限）を設けてしまう危険性がある。子どもたちにはこの枠に縛られることなく、歴史や文化を重ん

じる人間に育ってもらいたい。こういった危険性について、どのような対策をとっていくのか。

答弁 教育長 好奇心や創造力、また他人を思いやる能力といった、数値では測れない非認知能力がいま重要視されている。また、これは幼児期が大切だと言われている。これらを踏まえ、ゼロ歳から15歳までの一貫教育の中で、そういった力を養うためのカリキュラムを組み込んでいきたい。

また、コミュニティスクール事業として、地域の皆様の支援も受けながら、AIに負けない自分の価値観をもった子どもたちを育てるよう努力したい。



デジタル機器が創り出す未来とは

Q こども園の事業費の見直しは



A 最小の経費で、最大の効果を

鷹取 渡 議員

質問

こども園の事業費が大幅に上がっている。議会でも抑制に努めることを求める決議をしているが、抑制は可能か。

また中学校のテニスコートの設置は、どのように考えているか。

こども園、中学校建設の財源は、国からの交付金、補助金の他は、過疎債を借りる予定だが、要望どおりの金額が借りられないかった場合、公共施設整備等基金を取り崩すのか。

大きな事業が、同時進行していくが、町で工事の管理をする体制はできているか。

答弁 町長 事業費の抑制だが、基本設計の大幅な変更をするのではなく、実施設計を進める中で、部屋の機能を維持しながら合理的配置、使用する設備、材料など仕様の見直しを行い、建物、外構、造成の各分野においても抑制に努めたい。

テニスコートの設置は、建築後、議会の決議を考慮し進めた

い。

財源だが、過疎債で足りないところは、学校債を借り入れたいと思っているが、それでも不足するところは、公共施設整備等基金を使わせていただきたい。

こども園、中学校の建設は、奈義町の持続的発展に重要な事業であり、建設推進室、開設準備室の職員が一丸となつて事業の推進を図っていきたい。

こども園、中学校の建設は、



中学校現地調査

質問

SDGsの奈義町の取り組みは

A 未来を創るひどく
りを目指す

SDGsとは、地球上の人類が生活を営んでいく上で、持続可能な開発目標のことで、2030年までに達成を目指す17の大きな目標があるが、奈義町ではどの様な課題に取り組んでいるのか。

答弁 町長 奈義町版SDGsは、先般、冊子を作成し全戸に配布したところだ。全ての人々に健康と福祉を、そして質の高い教育が受けられ、住み続けられるまちづくりと、未来を創るひとづくりを目標としたい。

今年度は町民の方やパートナー企業の方などで、SDGsに取り組む機運を高めるために、円卓会議方式でフォーラムを開催したいと考えている。



小阪 四郎 議員

Q 本町の子育て、認定こども園の必要性について

A 子育てに喜びを実感できる町に

質問

認定こども園を早急に建てることは、奈義町を子育ての町として将来に継続していくための政策だと思っている。町民の理解を深めるためにも、本町の子育て、認定こども園の必要性について、どのように考えていくか。

答弁 町長

奈義町は平成24年に子育て応援宣言を行った。現在、保育園は定員100名まで受け入れを行っている。幼稚園は4歳、5歳の2年教育であるため、幼稚園の入所要件に満たない3歳児の行き場がない。3歳児からの幼児教育の実施、保護者の送迎の効率化、幼稚園への給食の提供などの課題があり、総合的に検討し、幼保連携型の認定こども園1園を整備する

いう結論に達し、平成30年3月5日、子育て教育検討会が前町長に答申した。平成31年4月、議会全員協議会で候補地を説明し、6月には用地選定、7月に場所も含めて、こども園基本構

想が示され、現在基本設計から実施設計にいたっている。

答弁 教育長 子どもたちは奈義町の宝。認定こども園が、奈義町の子育て教育の核となり、シンボルと言えるものにしたい。



こども園、ま～だ～？

質問

奈義町のSDGsについて、身近な自然環境の変化が将来、人に及ぼす影響を考えると、近未来的に不安を感じる。町の現在の自然環境について調査を行ってはどうか。

答弁 町長

奈義町環境基本計画に基づき、奈義町の理想的な環境の実現を目指し、町民、事業者、行政の協働により良好な環境の保全、復元、創出のため、長期的な目標と具体的な施策を示して推進している。平成28年度に改定し、目標年度をおおむね10年後の令和7年度として、環境施策に取り組んでいる。自然環境調査は、環境基本計画改定時期にあわせ、2年かけて実施している。場所を定めて、定期的に調査することに意味がある。時期を逸することなく実施しなければならないと考えている。



飛来する時期の変わったシラサギ

Q 井戸水の検査洗浄に補助を



定森 廉敏 議員

A 非常に難しい



空き家の井戸

質問 井戸は個人所有であるし、個人管理と思うが、地下水という公共性もあり水質検査及び井戸の洗浄に補助金を出せないか。

答弁 町長 水質汚濁防止法により、地下水の汚濁の状況は調査監督され、毎年結果の公表もされている。また、飲料水として使用している井戸水は、水道法により定められた水質基準の検査を受けるよう指導されている。本町は上水道の利用をしていただくことを推進しており、水質検査費用や井戸浄化費用の補助は、井戸の利用を推進するということになりかねないとい

うふうに思うので、非常に難しい。

質問 空き家にある井戸や廃井戸も井戸を埋め戻す補助金により整理されていくのではないか。

答弁 町長 空き家管理事業を進めていくなかで、含めて考えていく必要もあるのかと思う。ここで結論が出せるということではなく、そういった見方もあるということで捉えさせてもらいたい。

Q

赤字運営は水道料金の値上げにつながるのでは

A 値上げをしない維持管理に努める

質問 水道事業は給水原価が給水単価よりも高く、赤字運営が続いている。経営状態も心配だし水道料金の値上げも心配だが。

答弁 町長 受水費1億円と水道事業の維持管理費を合わせて、1億8000万円。水道料金に

よる収入は年間約1億5000万円で、トンあたり経費が52円50銭が超過している。そのため、一般会計から約3000万円の補助で料金の値上げをすること

なく運営が確保されている。また維持経費負担を減らすため、補助率60%の防衛の事業を活用している。そして、水を無駄にしないということで、しっかりと漏水調査も毎年実施している。

Q

渓流沿に遊歩道をさまざまなものでは

A

質問 名木の城跡をまわり清流に癒された。大別当城跡から「山の駅」に到るコースで、サーキット状に道路から渓流沿いに遊歩道はできないか。

答弁 町長 平成26年度に山城等をめぐるコース、遊歩道整備の際に計画ルートとして検討した。一部が防衛省の用地だったり、県の砂防地域に指定されおり、整備の許可は難しい。



森藤 政憲 議員

Q こども園は、いったん立ち止まり再検討を

A 事業費の抑制に努める



岡部議長に陳情を提出する
町民有志代表（5月24日）

質問 こども園の屋根等の構造について、ある専門家から心配の声が出ている。広戸風に大丈夫か。この屋根の建物の実績はあるのか。町にチェックできる体制があるか。設計業者と奈義町との対話の記録はあるのか。

また、財源に過疎債（借金）を29億円余りも借りる予定だが、償還（返済）の7割が地方交付税に上乗せされる、と広報紙に載っている。これは正確ではない。町民が誤解をされることとなる。どう考えているか。

議長と町長宛に、耐震が急がれる中学校建設を先行し、事業

質問

こども園の屋根等の構造

費の大幅増など問題を抱えたこども園は、いったん立ち止まり再検討を求める、1331筆もの陳情署名が提出されている。

町長は真摯に受け止めているのか。特に、事業費は抑制する事が必要と思うがどうか。

答弁 町長・担当課長 構造に

関する懸念は設計事務所に連絡してある。同じ屋根の構造の実績は把握していない。一級建築士は役場にはいない。業者との対話の記録は残っていないかもしない。過疎債の考え方は、分りやすく説明をしたが、間違つてはいない。陳情に対しては、陳情の内容である事業費の抑制、節制に努めたい。

質問

新型コロナ対策として、

全町民に3000円、高齢者に1万2000円が支給されているが、ナギフトカード会員でない町民には支給しないと言っている。当然、ナギフト会員以外の町民も対象者であり、支給しないとは、理解できない。どう考へているか、問う。

答弁 町長 家庭での負担軽減、町内経済の活性化を図るため、ナギフトカードに給付した。再交付を受けてください、と呼び掛けている訳で、決して出さないとは言つていらない。

答弁 情報企画課長 対象は森

藤議員の言われる通りだ。支給を受ける機会は平等であり問題はないと考える。

Q コロナ対策の支援金を、ナギフトカード会員以外には支給しないのは問題ないのは問題あり問題ない

その他、小、中学生のワクチン接種について質問しました。町長は、厚労省、文科省の指示を待ち対応したい、と述べました。

Q 未来に向けてのまちづくりは



中井 泰洋 議員

A 皆さんと一緒に進める

寄り、町民みんなが安心して暮らせる町であってほしい。自分たちの子孫がこの奈義町を盛り上げて、未来永劫存続させてほしいというのが皆さんのが願いではないかと思っている。

この目標を実現することは行政の力だけでは難しい。

町民の皆さんのがまちづくりに対する意識を高めてもらう、参加してもらうために、将来の夢を一緒に語り、学び、人数制限のない、未来に向けての委員会を立ち上げてみてはどうか。

答弁 町長 町民の皆さんとの協働は大変重要なことだと思っている。知識を出し合いながら、汗をかきながら進めなければならない。

今後も、引き続き町民皆さんと一緒に研究していきたい。



町民主導のマルシェ開催

質問

将来の奈義町はずっとあり続けてほしい。子供からお年

との協働のまちづくりを進めていく。

質問

目指すべき姿の実現のため、町民自ら自発的に行動することが望ましいのではないかと思う。今後、総合計画に基づく施策を企画、立案、実施していく際にも町民が参加できる場を設けてみてはどうか。

答弁 町長

町民の皆さんとの協働は大変重要なことだと思っている。知識を出し合いながら、汗をかきながら進めなければならない。

また、どのようにして減少を少なくしようとを考えているか。

答弁 町長

まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する際には、人口分析と将来の人口予想をしている。分析した結果は、有効に活用したい。

また、若者の定住、移住に向けた住宅施策、子育て支援の充実、郷土愛の醸成、子育て世代をターゲットとした観光戦略など、若者に魅力のあるまちづくりを進め、人口減少の克服に取り組む。

Q

A 人口減少に対する分析は

A 分析した数値を有効活用する

質問

人口減少を最大限抑えていくためには、20年前から現在までの、出生、死亡、町内出身者の転出、自衛隊を含むその他の転出、転入、分譲地、賃貸住宅などの分析が必要ではないか。

また、どのようにして減少を少なくしようとを考えているか。

こども園、中学校建設調査特別委員会報告

5月26日、こども園、中学
校建設の財政シミュレーション
に関して、特に財源、過疎
対策事業債について説明を受
けた。主な質疑は次のとおり。

問・過疎債は単年度で申請す
るのか。

答・単年度で同意を得る。

問・パブリックコメントの際に配
られた財政シミュレーション

はどのような考え方で出した
数字か。過疎債は満額借り
られると誤解している方
があるが。

答・過疎債であれば7割が国
から返ってくる。10割自分
で出すのではなく、3割し
か出さなくて良い方法で行
う。

問・他の事業についても過疎
債の申請はできるのか。

答・ハード事業の上限はない。
今まで過疎債を使っていた
事業ができなくなるという
ことはない。

答・できるだけ町の負担が少
ない方法を想定し作成した。
過疎債を借りた場合、実質
公債費比率がどうなるかと
いう考えでつくった。借り
られない場合は代替措置も
考えられる。確定してない
とは書いてないが、補助金

も交付金も確定してはいな
い。確定したものでなければ
予算ができないというこ
とでは自治体の予算は成り
立たない。誤解のある部分
は広報紙で対応したい。

問・基金を使って、過疎債を
借りるのを少なくするとい
う考え方もあるのではない
か。

答・陳情の趣旨はこども園を
立ち止まり、事業費や設計
の見直しをすべきというこ
と。住民の声を尊重するこ
とは地方自治の本旨から考
えても重要な意味がある。

答・岡立議員（不採択）
こども園は、良い物を作つ
て、若い人も住み良い町に
なるようにと考えている。
そのためにも立ち止まって
いる場合ではない。

●鷹取議員（一部採択）
中学校については、早く
するべき。こども園は、ぜ
ひ進めてほしい。「立ち止
まって」には賛成できない。

●定森議員（不採択）
財政面や保育園の現状を
加味すれば、立ち止まるこ
となく進むのが常道である
と考える。

6月15日、定例会初日に付
託を受けた、こども園と中學
校の建設に関する陳情書の
審査を行った。それぞれの意
見を述べた後、採決を行い、
委員会においては不採択となっ
た。

も交付金も確定してはいな
い。確定したものでなければ
予算ができないというこ
とでは自治体の予算は成り
立たない。誤解のある部分
は広報紙で対応したい。

●芦田議員（不採択）
単独町政を維持するため
には、一日も早くこども園が
必要。

各議員の意見内容

●森藤議員（採択）

陳情の趣旨はこども園を
立ち止まり、事業費や設計
の見直しをすべきというこ
と。住民の声を尊重するこ
とは地方自治の本旨から考
えても重要な意味がある。

●岡親佐議員（不採択）
3月にこども園の事業費
の抑制、中学校のテニスコー
トなどは、よく意見を聞き、
進める決議をした。立ち止
まつても経費が安くなる保
証はない。

●上原議員（一部採択）
進めることを数年前に決議

している。中学校を「先行
して」建設することはその
意に反する。

まちづくり常任委員会報告

6月4日、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のとおり。

問・旧奈義東幼稚園舍

活用の説明があったが、大幅な改修が必要ではないか。

答・改修は必要だが、

地方創生推進交付金を活用し、町の負担を抑え、少ない経費で効果をあげたい。

問・地方創生関連法人の決算は。

答・福祉的な業務も担っている。年々町からの委託等を減らし、各法人で運営できるよう進めている。和3年度は主食用米が減っているが、なぜか。



表紙・上原ぬじ江さん（中島西）

42歳のとき、生徒一人から始めた書道教室。そこから約55年、さまざまな方とのご縁のなかで、今を迎えることができています。土の下にあるものが、人目に触れずとも大自然の力で育つように、書に触れてくださった方の中に、キラリと輝くものが芽生えれば、それに勝る喜びはありません。

答・主食用米の価格が下がるということで、生産を抑え、価格が安定するように転作受付をした。

問・コロナ後の新規事業者獲得にむけた支援は。

答・店舗改修や、新規起業に対する補助制度を設けている。

法人にした場合だけでなく、個人事業主として立ち上げた場合、個人事業主から法人にまで効果をあげたい。

した場合にも補助している。6月15日、活用が検討されている旧奈義東幼稚園の現地調査を行った。行方地区からシェアオフィスなどに利用したいとの提案があった。



傷みの激しい旧東幼稚園

【編集委員】

議長 岡定森
委員 岡部英生
委員 副委員長 上原伸介
委員 森藤政憲
委員 小阪立
委員 四郎政憲
委員 廉敏

今後とも町民の意見、議員の主張、執行部の対応など、わかりやすい紙面になるよう努力していきたいと思います。
(定森廉敏)

編集後記